



2月号

ふじいでら 市議会だより

編集・発行／藤井寺市議会

☎939・1208

藤井寺市岡1-1-1

令和元年第3回定例市議会の概要

令和元年第3回定例会は11月29日から12月20日までの22日間の会期で開催され、提出された令和元年度補正予算、条例の一部改正、報告案件、人事案件、議員提出議案など16案件、意見書3件、について、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

また、令和元年第2回定例会において継続審査となっていた平成30年度各会計(8会計)決算を認定し、閉会しました。

人事案件について

◆藤井寺市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

岡本 公一さん

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求め送付しました。

◎「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書

◎CSF(豚コレラ)の早期終息に向けた緊急かつ具体的な対策を求める意見書

◎令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書

一般質問



大阪維新の会
代表質問
生田 達也

1 職場環境について

(1) 職員の応対について

質問 気持ちの良い挨拶を実行する重要性を認識し、取り組まれた内容を伺います。

答弁 庁内メールにて全ての職員に活気ある市役所づくりに向けた挨拶の徹底を周知しました。今後は、対面接遇診断を実施し、接遇スキルの向上を図ります。

(2) 男性職員の育児休業に関して

質問 取得状況を伺います。

答弁 過去5年に遡っても取得したのは1人のみです。

要望 少子化対策の具体策として政府案同様に、1か月以上の取得を義務化させ、上司の業績に反映させることを要望します。

2 予防医療について

(1) 取り組みについて

質問 政府は予防医療の取り組みが不十分な自治体の交付金を削減する考えですが、本市への影響を伺います。

答弁 保険者努力支援制度で特定健康診査の受診率、特定保健

指導実施率共に評価基準値を上回っており影響はありません。

(2) 口腔ケアの重要性

質問 予防医療の中でも重要な口腔ケアへの考えを伺います。

答弁 疾病予防等の観点からも、歯磨き習慣や検診によるケアは、大変重要と考えています。

要望 子どもの頃から正しい歯磨き習慣が大事で病気の予防・将来を含めた医療費の抑制・学力向上にも繋がります。子供達が毎日口腔ケアを実行する施策を行政が行うことを要望します。

3 観光政策について

質問 近隣市同様、インターネットテレビの新たな媒体で情報発信するのは如何ですか。若手職員が主体となれば意識向上と地域との繋がりと相乗効果も期待されますが、お伺いします。

答弁 郷土愛や協働のまちづくりにも繋がるため、費用対効果などを検証しながら検討します。

質問 近鉄沿線で連携し、南河内一体での取り組みが重要ですが、状況を伺います。

答弁 華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会を組織し、イベント・出展・宣伝・研修会等実施し、連携も図っています。

要望 修学旅行を誘致するのが

重要です。学生の知識習得や地域の課題抽出は、関係人口を増やす効果が高いため要望します。



大阪維新の会
個人質問
河井 計実

1 災害対策基本法第34条第1項の制定に基づく防災基本計画について

質問 順守についてお聞かせください。

答弁 防災意識の啓発、自主防災活動の推進、避難所開設など各種訓練を実施。備蓄品の整備充実にも努め、引き続き防災基本計画に基づき災害対策への一層の備えと充実強化に努めます。

要望 地域防災マネージャー制度を利用した退職目衛官の雇用など市民の生命と財産を守る能力を今以上に強化し備えていただけるよう強く要望します。

2 川北地区の幼稚園児の送迎について

質問 現在の送迎状況と今後の予定をお聞かせください。

答弁 5人のうち3人をタクシーにて送迎しているが、令和3年3月末で廃止の予定です。

要望 統廃合により不便を感じる園児が増えてくる事は必至であり、今回の川北幼稚園の送迎

バス廃止問題は藤井寺市全体に通じる問題で地域格差を無くすため幼稚園、保育園の違いを問わず市内全園を対象にした園児の送迎バスを強く要望します。

3 動物愛護について

質問 9月議会での要望後の取り組みをお聞かせください。

答弁 猫の殺処分ゼロに向けTNR(捕獲・避妊手術・元の場所にもどす)活動をチラシ配布し推奨やボランティアによる地域猫活動を推進、無責任な野良猫へのエサやり行為との見分けを付けるため腕章、捕獲檻やトイレへの看板の用意をします。

質問 動物愛護センターとの連携、協力、ボランティアへの支援をお聞かせください。

答弁 センターでの譲渡会や飼育教室等イベントの開催案内を広報紙で告知。無責任なエサやりなどに対する指導や傷病動物の収容などを連携協力し、ボランティアへは市の施設等を譲渡会の開催場所として提供することや、広報紙への掲載、チラシの配下等により支援します。

要望 譲渡会に関する情報などを市民の皆さんに積極的に提供いただき、殺処分ゼロに向けて、ボランティアの皆さんによる活動に対しても積極的な支援を行



大阪維新の会
個人質問
松本 洋介

1 給与水準の適正化について

質問 本市の技能労務職員の給与を職業別と類似職種の民間水準をお聞かせください。

答弁 平成30年度では本市清掃職員は約568万円、民間では約403万円、本市保育所・小学校の用務員・校務員は約625万円、民間では約280万円、本市調理師は約664万円、民間では約376万円です。

質問 本市の財政状況に鑑み、民間水準に準じた適正化をすべき問題です。見直す気はあるのかお聞かせください。

答弁 民間と大きな乖離があることは認識しております。今後、検討してまいります。

要望 厳しい本市の財政健全化を図るのであれば、まず相場と大きく乖離している予算の見直しは当たり前です。これらをせずに市民に増税や公共料金の値上げを今後するのであれば、市民を軽視していると捉えられかねません。本件は見直すべき点の一部です。財政規模に沿った給与水準の適正化を全庁的に取り組んでください。

2 放課後児童会の民間活用について

質問 他市では英会話や体操・塾などの要素も取り入れた放課後児童会が民間で設立されています。本市では民間活用についてどのように考えていますか。

答弁 本市でも学習塾などが結果として放課後の児童の居場所になっている事例もあります。民間活用には情報を収集し、実現の可能性を研究してまいりたいと考えております。

要望 子育て世帯に選択肢を提供することが子育てしやすい街です。是非、検討してください。

クトチームを発足させ検討してください。



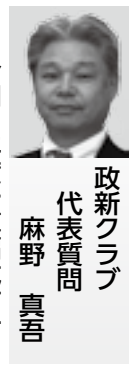
3 シビックプライドの醸成について

質問 シビックプライド(地元愛)を深めるには市民参画、継続的かつ規模感があるイベント発足も手段の一つであると考えますが、考えをお聞かせください。

答弁 PR効果も期待できることから必要と考えます。

質問 世界遺産登録を契機に現行の市民マラソンのコース・距離・名称・開催時期などを一新し、バージョンアップをする。とはいかがかお聞かせください。

答弁 即座対応の段階には至ってませんが協議してまいります。
要望 若手職員によるプロジェ



政新クラブ
代表質問
麻野 真吾

1 令和2年度予算編成方針について

(1)平成30年度決算の活用について

質問 黒字決算をどのように令和2年度以降の予算編成に活用するのをお聞かせください。

答弁 慢性的な赤字体質は変わっていません。当初予算で生じている多額の財源不足の状況も課題であり、解決に向けた取り組みを継続していきます。

(2)令和2年度当初予算について
質問 引き続き黒字決算を達成

するための令和2年度当初予算内容についてお聞かせください。

答弁 各部署に予算要求上限額を設定し、財源の一部を市長重点事業として位置づけます。上限設定による抑制額は2億7000万円程度ですが、予算編成中である現時点では効果額の把握はできていません。

(3)今後について
質問 予算、決算について将来展望をお聞かせください。

答弁 黒字を維持することは容易ではなく、厳しい状況が続くものと考えています。

2 放課後教育の充実について

(1)小学生版ゆめ教室について
質問 放課後教育の充実のため、小学生版ゆめ教室の検討状況についてお聞かせください。

答弁 令和2年度の試行実施に向けて準備を進めています。高学年を対象とし、下校時間後に補習的な学習の実施を検討しています。

要望 小学生版ゆめ教室の実施によって、教育環境の充実と放課後児童会の課題を同時に解消できるように積極的に進めていただくことを要望します。

(2)きらめき教室の発展について
質問 庁舎の地下スペースで、英語に親しめる環境づくりの検

討状況をお聞かせください。

答弁 令和元年度末にきらめき教室の発展型として、地下スペースを活用したA・L・Tとともに英語に親しむ場を設定することを検討しています。

質問 市長としての本市の英語教育の発展についてのお考えをお聞かせください。

答弁 民間の力や地域人材を活用し、子ども達はもちろんのこと市民が気楽に英語を話せるような雰囲気を作り出すことを考えています。

3 公民連携による複合施設整備について

質問 図書館、市民総合体育館周辺の複合施設整備について、検討状況をお聞かせください。

答弁 施設利用団体へのアンケート調査結果、庁内検討部会での意見を集約して、複合施設整備に必要な施設規模・機能を検討しています。令和元年度末までに複数再配置パターンを比較検討し、事業化判断してまいります。

4 生涯学習センターの活用検討チームについて

質問 有効活用について、8月以降の検討チームでの検討状況についてお聞かせください。

答弁 これまで13回会議を行

い、チームで出したアイデアに民間企業などの意見を踏まえ、検討を進めています。短期的に取り組めるものについては、関連予算措置を検討します。検討チームの活動は最終的な段階に差し掛かっており、令和2年度以降は活動内容に沿った担当部署が中心となって具体化を進めていきます。

要望 当初予算編成について、シーリングの考え方や財源を市長特別枠へ充当すること、毎年度の歳入額に合わせた歳出予算を組むことについて、過去の答弁にはない意気込みを感じていました。しかし、今回の予算編成での変更点は極めて限定的で抜本的な財政改革とはほど遠いと言わざるを得ません。議会へ当初予算案を示していただき、さらに、再度精査していただき、基金の取り崩しや雑入に頼らない、メリハリのある岡田色を市民の皆様に見える形で示していただきたいと思います。岡田市長が就任されたこのタイミングで改革がなければ、今までと何も変わらないのではないかと危機感を抱いています。ぜひ強い覚悟を持って、この機会を逃さないことを強く要望します。



政新クラブ
個人質問
岡本 光

1 学力向上に向けた取り組みについて

(1)夏休み等の変更計画について
質問 小中学校へのクーラー整備による夏期休業短縮のお考えについてお聞かせください。

答弁 近隣の他市町村の動向も見ながら、令和2年度からの夏期休業の短縮を検討します。

質問 学力向上の点での、夏期休業短縮による効果についてお聞かせください。

答弁 新学習指導要領に則った主体的・対話的で深い学びを実現させ、学力向上の取り組みを充実させる点で効果があると考えています。

(2)学力向上に向けた具体策について

質問 教育委員会の点検・評価に関する報告書に記載のあった、ICT機器の有効活用について具体的に何をするのかお聞かせください。

答弁 ICT機器を有効活用することで、子どもの興味関心や理解度、コミュニケーション能力を高めることができました。今後は、最新型パソコンを導入し、デジタル教材を活用するなどによって、授業改善の取り組みを進めたいと考えています。



日本共産党
代表質問
瀬川 寛

1 核兵器禁止条約の批准に向けて

質問 市長のお考え、取り組みについてお聞かせください。

答弁 この条約は発効すれば、核保有国や日本を含めた同盟国にも影響が及ぼされるものと認識します。本市としては平和首長会議加盟都市の一員として引き続き日本政府に対して要請を行い、市民の皆様とも連携しながら訴えかけてまいります。

2 安全・安心なまちづくりのために

質問 藤井寺市民病院の統合再編を検討せよと、国から名指しされていますが、市の立場をお聞かせください。

答弁 高齢化に伴い、近隣で受診できる総合病院的な医療の提供が求められており、今後とも

市民が安心して暮らしていけるように、近隣の医療機関との連携を密にしながら、今まで通りの医療を提供し、地域医療の貢献に努めてまいりたいと考えています。また救急指定は受けていませんが、平日・土曜の午前9時から午後5時までの救急車の受け入れを積極的に行い、在宅や介護施設での急変した患者など緊急性の高い患者を積極的に受け入れるための支援体制の強化に取り組んでいます。

質問 藤井寺市水道事業を大阪広域水道企業団と経営統合した場合、職員は企業団の職員となり、別組織です。災害発生時は市長が直接指揮できる体制の方が適切ではありませんか。

答弁 緊急時にはセンター長判断で対応しますので、迅速な対応は可能であると考えます。市の災害対策本部との関係性におきましても後退することはないと考えています。

要望 統合しても水道料金の値上げを予定していること、統合しなくても人員の確保さえできれば事業を継続できること、統合すれば、水道料金や自己水確保の方針など、市民生活に関わる重大な決定権が、企業団と企業団議会に移ることなど、市民に情報を公開し、市民の声を聞

いてから判断してください。

質問 小山藤美町の府営住宅から少し南、サンプラザ前の東側歩道について、グレーチング整備をきちんと行うよう府に働きかけるべきです。また土師ノ里駅から南の西側歩道、久保医院からみどり食堂までの区間の改修についても、どのような状況かお聞かせください。

答弁 両歩道のまだ着手できていない部分については、合わせて令和元年12月11日に入札を行い、落札者が決まらなかった場合も再入札を行うとのことですので。本市としても早期整備を引き続き働きかけてまいります。

質問 藤井寺駅南側の歩道は点示ブロックもありません。改修するよう近鉄に働きかけるべきですが、いかがお考えですか。

答弁 世界文化遺産登録を契機に来訪者対策として南河内の玄関口にふさわしい魅力のある歩道空間となるよう、近鉄と話し合いを進めてまいります。

質問 第5保育所の耐震化自体へのお考えをお聞かせください。

答弁 耐震化につきましても、耐震化を急ぐとして公共施設再編基本計画から切り離し、既存の公共施設、または新たな敷地確保などによる移転先の検討を行うといった従来からの市の方

針に変わりありません。

質問 現在の第5保育所が実際のどのように施行されているのか、まともに説明できないのは現場を調査していないからです。シエルター会社に見せた場所を見せていただけませんか。

答弁 保育現場、関係課と日程などを調整させていただいて、保育に支障がない範囲でご確認いただければと思います。



日本共産党
個人質問
木下 諒

1 保育所の待機児童の早期解消と保育環境充実のために

質問 平成31年4月1日時点で入所が決定していない人数は65人です。隠れ待機児童も含めてどのような確保策をお考えか、お聞かせください。

答弁 第二期事業計画期間中に保育施設などの参入等により利用定員の増加を検討しています。

質問 老朽化や弾力化解消のために既存の公立保育所の拡充を含めた建て替えを行うべきです。土地の確保を今から調査・検討すべきですが、いかがですか。

答弁 土地の確保の検討も含め待機児童の解消に向けて何らかの対応は早期に進めていきたいと考えています。

要望 道明寺地区の受け皿拡充のため第4保育所の土地の確保を早急に検討してください。

質問 クラス担任を持つ嘱託保育士の割合は平成31年4月1日時点で32・4%と高く、正職保育士の割合を高めるべきだと考えますが、いかがですか。

答弁 正職の確保については引き続き対応してまいります。

2 性の多様性を尊重するまちへ

質問 パートナーシップ制度を持つ自治体は令和元年12月現在で30自治体に広がりました。市長の性的マイノリティへの考えをお聞かせください。

答弁 多様性を認め合える社会の実現を目指し、相談体制等について関係団体や当事者の声も聞きながら支援に向けた環境づくりを進めていきたいと考えています。

要望 同性のカップルがパートナー関係だと宣誓されたことを公に証明するパートナーシップ制度は府下で5市が実施しています。是非、検討してください。



改革ふじいでら
代表質問
畑 謙太郎

1 行財政改革について

(1) 財政収支見通しについて

質問 中期における財政収支見通しの取り組みをお伺いします。

答弁 市税や国の方向性に大きな影響を受ける地方交付税の動向などを加味しながら慎重に検討しています。

(2) 行財政改革推進プラン2016について

質問 このプランの最終年度を迎えているが総括について問う。

答弁 早期健全化団体への転落を回避することと実質収支黒字の確保という2つの目標に関してはおおむね達成できると考えています。

(3) 新たなプラン策定について

質問 令和2年度以降の新たなプラン策定について伺います。

答弁 市長を本部長とする行財政改革推進本部会議を開催し年度内に新たな行財政改革の方針案をまとめていきます。

2 防災・減災対策について

(1) 本市の災害状況について

質問 本市の自然災害における状況についてお伺いします。

答弁 台風の接近や大雨により情報収集体制3回事前配備体制

を3回災害対策本部初動本部体制の警戒配備体制を2回設置し対応しています。

8月19日には1時間に44・5㎜の雨量を観測し床下浸水14件道路冠水による通行止めが1か所発生しました。

(2) 浸水対策について

質問 小山・北條雨水ポンプ場施設改修についてお伺いします。

答弁 ストックマネジメント計画に基づき小山雨水ポンプ場の設備の更新・耐震補強及び北條雨水ポンプ場の機械設備長寿命化などを実施する。10か年の概算総事業費は合計17億円を見込んでいます。

要望 市民の安全安心を担保するため確実に実施していただきますようお願いします。

質問 河川の改修について問う。

答弁 京樋雨水幹線ならびに西水路雨水幹線の整備に取り組んでいます。

質問 河川・水路の浚渫も重要だが取り組みについて伺います。

答弁 市内パトロールのほか地区からの要望による水路や暗渠などの浚渫や草刈り、準用河川西水川の河床の浚渫を行っています。

要望 水路などについて地区からの要望にはスピーディな対応を要望します。

(3) ハザードマップについて

質問 洪水時の浸水想定を記載したハザードマップがあるが市民にどのように周知を図っているのかお伺いします。

答弁 防災ガイドブックを平成29年4月に全戸配布し、それ以後は転入手続きの際に配布している。また市ホームページの掲載や広報紙での啓発、防災講習会での周知啓発を行っています。

質問 大和川河川事務所では洪水標識や避難所標識を設置しているが本市の設置状況についてお伺いします。

答弁 浸水深や避難所等の洪水関連標識を本市では4か所に設置されています。

要望 4か所では不十分なので大和川河川事務所に対し追加設置を要望してください。

3 観光振興について

(1) 実施計画の進捗状況について

質問 観光振興を図る方策としてまちなか観光創造プログラム・藤井寺市シティープロモーション戦略が策定されているが実施計画の進捗状況についてお伺いします。

答弁 ハレマチビヨリの開催やコラボ商品開発、フジイデライクの取り組みなどSNSを活用した情報発信、市民団体への支

援「ふんまち」イベントにおいて近鉄・羽曳野市と連携し実施しています。

質問 プロモーション戦略に示されている目標指標の状況についてお伺いします。

答弁 プロモーションサイトのアクセス数は目標2000に対し1851、フジイデライクの投稿数は7000に対し4944、地域ブランド調査の認知度は300位に対し416位となっています。

(2) 地域資源の発掘について

質問 藤井寺市が幅広い年代層に興味を持っていただくための新たな地域資源を発掘する取り組みについてお伺いします。

答弁 市内3駅周辺の多くの店舗を新たな観光資源としてとらえ神社仏閣や古墳などの歴史資源とともにまちをぶらり歩いていただくコンテンツとして考えています。観光資源を事業者とともにブランド化を進め更なるプロモーションを展開していきます。

(3) 受け入れ態勢の整備について

質問 観光案内の拠点としてゆめプラザがあるが、利用率についてお伺いします。

答弁 平成22年に開設し開館以来約8万7千人の方にご利用いただき、最近では年間1万人前



改革ふじいでら
個人質問
國下 尊史

1 職員の時間外勤務状況について

(1)現状と今後の取り組みについて

質問 働き方改革に関連して、どのような対策を講じているか現状と今後の取り組みについてお聞かせください。

答弁 働き方改革が平成31年4月から始まり、本市におきましても、時間外勤務については、月上限45時間、年間の上限360時間に取り組んでいます。平成30年度の時間外勤務の状況につきましては一般職で月平均40時間以上の実績があった職員は合計で8人でした。このような状況を踏まえ対応したところ、時間外勤務は減少しましたが、依然40時間以上の実績があります。今議会で条例改正案を提案し令和2年4月1日付で予定している機構改革におきまして所管の一部を見直しする事としています。また人員体制につきましても、適正な職員配置に努めてまいりたいと考えています。

要望 職員数の増員、仕事量の配分など全庁的にバランスを取ってもらい、この働き方改革の趣旨に沿った勤務状況、労働

環境の改善、整備を要望します。



公明党
代表質問
伊藤 政一

1 市政情報発信について

(1)現状について

質問 市政情報を発信されていますが、どのような形で発信されているのか、お聞かせください。

答弁 市政情報は、広報ふじいでら、市ホームページとSNSを活用しイベント行事などの情報を、そしてイオン店内に官民協働のデジタルサイネージで積極的に発信しています。

(2)今後の取り組みについて

質問 市長は市の取り組みを「伝えるから伝わる」と言われましたが、今後の取り組みについてお聞かせください。

答弁 広報紙や市ホームページは見やすく分かりやすく伝わるように、また、市民の情報取得の主流であるスマホなどの情報ツールも活用しタイムリーで魅力ある情報発信に取り組みます。

要望 イベント情報と健康診断やその月のトピックスの発信などを要望します。

2 高齢者対策について

(1)介護予防教室の実施について

質問 住民の介護予防の意識啓発に向けてどのような教室を実施しているかお聞かせください。

答弁 介護予防は一人ひとりが意識を高めることが大事であると考えており、市民の自主的な介護予防活動の実施を推進しています。誰でも気軽に参加できることが必要と考え、10月以降イオンショッピングセンターを会場に予防教室を4回実施しました。

質問 イオンではどのような教室を実施しているかお聞かせください。

答弁 毎回新しい体験をしてもらえるよう工夫しており、今後も場所の利点を活かして教室の内容を充実させていきます。

要望 多くの住民に参加してもらえるよう継続していただくことを要望します。

3 子どもの権利をまもるための仕組みづくりについて

(1)子ども版共育ビジョンについて
質問 子どもの虐待など悲しい事件が起きています。子どもが自分自身で権利を持っていることを知る機会を学校教育の中で実施されている取り組みについてお聞かせください。
答弁 各校では社会科や総合的な学習の時間に人権について学び、道徳をはじめ教育活動全般を通して、自分や他人を大切にしている取り組みを進めています。また、全小学校1年生を対象にCAP(子どもに対する暴力防止)という教育活動を毎年実施し子どもが自身の権利について知り、自分で自分を守る方法を学んでいます。
質問 子どもたちが悩んだときに、相談できるところがあるかお聞かせください。
答弁 各学校で悩みのアンケートを実施したり2者面談の機会を設けています。また、府が開設している教育相談窓口の案内カードの送付、市の相談窓口一覽も配布しています。
要望 子どもの権利行使の価値と使い方を正しく教える機会を増やしていただくことを要望します。
(2)保護者のSNS活用について
質問 スマホの普及で子どもが巻き込まれる犯罪などが増えています。子どもや保護者に対して学校ではどのような啓発活動

後で推移し、世界文化遺産登録後の3か月間では約15%増の利用状況となっております。
質問 ゆめぷらざの機能強化についてお伺いします。
答弁 入口の自動ドア化や休憩設備の充実、物販コーナーの拡充、古墳関連映像上映のための大型モニターや翻訳機の設置など進めています。
質問 市内3駅からの誘導サイン整備についてお伺いします。
答弁 総合案内板を藤井寺駅南側階段下、西小学校東側交差点に、案内サインを西小学校から仲哀天皇陵に続く道路に4か所設置することとしています。
要望 来訪者に優しいサインの充実を図ることを要望します。
(4)イベント情報の収集発信について
質問 来訪者が楽しそうなまちと思って頂くための各種イベント情報発信についてお伺いします。
答弁 広報紙・ホームページ・フェイスブックなど活用している。引き続きよりわかりやすい魅力的な情報発信を進めていきます。
要望 市内各種団体のイベントのPRに一層力を入れていただくよう要望します。

されているかお聞かせください。

答弁 各学校の実態に合わせ、子どもや保護者に向けてSNS

の利用に伴う危険性などについて、外部講師を招き講演会を実施するなど啓発活動を行っています。

要望 子どもたちと保護者に機会あるごとに諭し、守る啓発活動の継続を要望します。



公明党
個人質問
玉田 日登美

1 組織機構改革について

(1) 機構改革のポイントについて

質問 令和2年4月実施予定の組織機構改革のポイントについて市長の思いをお聞かせください。

答弁 多様化する市民ニーズや行政課題に対応していくため現在の組織機構の課題や問題点を整理し市民目線に立った組織作りを取り組んでまいります。

(2) 放課後児童会について

質問 新体制について、緊急時の対応について、課題について

質問 今回の機構改革で放課後児童会の新体制をお聞かせください。

答弁 入所希望の児童が増加していることから新たに生涯学習課に放課後児童会担当を設

置し対応するものとしたところ

質問 指導員の処遇に対するの

答弁 処遇面に関し一定の見直しを検討しているところです。

要望 人員体制や緊急の際に子ども達の生命を守る構造になっているが、市一体となって協議して

してください。

2 ふじみ緑地の活用について

(1) 管理について

質問 常に綺麗に管理されていますが管理方法をお聞かせください。

答弁 外部委託管理者1名と市の職員で管理しています。

(2) 緑地内の遊員の充実について

要望 現在遊員は設置されていませんが、今後保育園が開園し子ども達が増えることを想定し遊員の導入を検討してください。

(3) 緑地周辺の安全について

質問 4月に民間保育園が開園されると緑地の利用者が増加すると予想されます。車や観光バスの出入りもありませんが周辺の安全対策をお聞かせください。

答弁 車両に死角にならないよう適宜植木の剪定を行っている

又、民間保育園開園に伴い保育園東側道路の拡幅を令和元年度工事で行います。今後も歩

行者や園児の安全確保のため安全対策に努めてまいります。

要望 駐車場に安全監視員の配置やドライバードライバーに注意喚起する看板を設置して

ください。大津市で園児らが死傷した事故を踏まえ我が党が緊急提言し

保育所周辺の安全対策として「キッズゾーン」の整備を推進しています。今後「キッズゾーン」の整備など安全対策に更に力を入れて

いただくと要望します。

3 キャッシュレスポイント還元事業について

(1) 市民への周知について

質問 令和2年6月までの期間限定であることのお得な制度を更に広く知ってもらい活用してもら

うための周知活動をお聞かせください。

答弁 消費者向けチラシを配布して

(2) 本市のキャッシュレス導入店舗の状況について

要望 外国人観光客の7割がカードを使える場所が今より多

かったら、もっとお金を使ったと回答したデータがあります。今後の観光客対策としても

無料の期間に加盟店が増加する様よろしく願います。キャッシュレスは怖いと言っ

を多く聞きますが電子マネーなど種類を選択できる事や小銭の管理や大金を持ち歩かなくすむ事など丁寧な説明を是非広報に掲載して

いただきたいです。使い方の講座を開催するなど、市民への周知を要望します。



会派に属さない議員
個人質問
花崎 由貴子

1 2040年に向けてつどい

つながらる地域づくりを進めるために

質問 市が推進されている「ええとこふじいでら」体操は現在どのような開催状況で参加者はどのよう

な層がお尋ねします。

答弁 25か所の地区会館で実施中または実施した実績があります。介護予防が目的です

ので参加者はほぼ高齢者です。
質問 地域主体の取り組みになり広がりが見られますが全庁的な推進体制は

答弁 様々な分野の活動を支援することは重要と考え

要望 体操も利用し異世代が集う機会を設け

地域づくりを進めてください。

2 これからの市民参画・協働について

質問 パブリックコメントやアンケート調査以外に市民が直接意見の言える場や行政とともに話し合う場が必要と

考えますがいかがですか。

答弁 令和2年2月よりタウンミーティングを行います。公共サービスを

提供する一方通行から市民も共に主体的に取り組むまちづくりを進めたいと

考えます。
質問 職員の縦割り意識をなくすことを目的に他市では幼稚園と

保育所の先生の職場交替をしています

が本市はいかがですか。
答弁 研修や交流を重ね相互理解は深ま

っています。
質問 市民とまちの未来について共通認識を持つ仕組みが必要だと

考えますがいかがですか。
答弁 市民への情報発信と共に庁内でも協働し積極的に取り組んで

令和元年第3回定例会議決結果一覧

議案番号・議案名		会派・議員名				公明党	維新の会 大阪			政新クラブ		日本共産党		無党派		結果
		ふじいでら 改革	山本 忠司	國下 尊央	伊藤 政一		生田 達也	河井 計美	松木 洋介	麻野 真吾	岡本 光	瀬川 覚	木下 誇	花崎由貴子		
認定第1号	平成30年度藤井寺市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	欠	認定	
認定第2号	平成30年度藤井寺市駐車場特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	欠	//	
認定第3号	平成30年度藤井寺市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	欠	//	
認定第4号	平成30年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	欠	//	
認定第5号	平成30年度藤井寺市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	欠	//	
認定第6号	平成30年度藤井寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	欠	//	
認定第7号	平成30年度藤井寺市病院事業特別会計決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	欠	//	
認定第8号	平成30年度藤井寺市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	欠	//	
報告第16号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度藤井寺市一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	○	承認	
議案第36号	藤井寺市事務分掌条例の一部改正について	○	○	○	○	議長のため、採決不参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	藤井寺市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第38号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第39号	藤井寺市立ふじみ緑地駐車場条例の制定について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第40号	藤井寺市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第41号	藤井寺市下水道条例の一部改正について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第42号	市道路線の一部廃止について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第43号	藤井寺市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第44号	令和元年度藤井寺市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	令和元年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第46号	令和元年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//	
議案第47号	令和元年度藤井寺市水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//	
議案第48号	令和元年度藤井寺市病院事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//	
議案第49号	令和元年度藤井寺市公共下水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//	
議員提出議案第1号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	否決	

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対 「欠」は欠席

令和2年第1回定例会市議会の日程 (2/21~3/25)

【本会議】

2月21日(金) 議案説明
3月2日(月) 一般質問
3月3日(火) 一般質問
3月25日(水) 委員長報告など

【委員会】

3月6日(金) 民生文教常任委員会
3月9日(月) 総務建設常任委員会
予算特別委員会(説明)
3月12日(木) 予算特別委員会(審査)
3月13日(金) 予算特別委員会(予備日)

※各日10時から開催します。

但し、3月9日の予算特別委員会(説明)と3月13日の予算特別委員会(予備日)は14時から開催します。

※日程などは変更する場合があります。

